



「民学産公」の知的資源を活用し、未来へ開く新しい扉。

設立理念

三鷹市は、市の基本構想において、「平和」「人権」「自治」を基調とした「人間のあすへのまち」の実現をめざしています。

市民一人ひとりがお互いに尊重しあい、自らのまちをつかっていく中で、いきいきと暮らし、自己実現ができる社会をめざしていききたいと考えます。

この基本構想の理念の実現に向けて、三鷹ネットワーク大学を設立し、「民学産公」の持つ知的資源を最大限に活用し、つなげていくことで、三鷹の未来に向けた、まちづくりの新しい扉を開いていきます。



ごあいさつ



「民学産公」によるイノベーションで「明日のまち」づくりを

三鷹市長
河村 孝

三鷹市には、長く続いてきた先駆的な市民参加の歴史があります。また、三鷹市では、市民の皆様一人ひとりが、まちづくりに主体的に関わる中で、いきいきと暮らし、自己実現ができる地域社会を目指しています。そのような市民の取り組みを、「民学産公」の各分野が持つ知的資源を活用しながらサポートしているのが、この三鷹ネットワーク大学推進機構です。

少子高齢化、グローバル化に加え、AIなど新たなテクノロジーの台頭が進む現在、三鷹市では従来の様々な職種の枠を越えて、まさにまちぐるみで連携し合うことで、市民の暮らしを向上させていこうという取り組みが、福祉分野をはじめとした様々な分野で始動しています。異なった文化や習慣のもとで取り組んできた人たちが、共通の目標に向かって手を取り合うとき、創造的な知的議論が生まれます。

三鷹ネットワーク大学推進機構が、大学をはじめとした、教育・研究機関が持つ高度な知的資源の提供に加え、「民学産公」の協働による新たな社会に向けたイノベーションと、研究・開発機能の地域への開放により、市民参加の更なる発展と、豊かな市民生活の実現につながる「地域の大学」であり続けることを願っています。三鷹市も共に、「オール三鷹」の精神により、「明日のまち」づくりに取り組んでいきたいと思えます。



「21世紀市民社会」の形成に向けて

特定非営利活動法人
三鷹ネットワーク大学推進機構
理事長 鈴木 典比古

三鷹ネットワーク大学は、三鷹市とその近隣都市にある19の教育・研究機関を正会員とし、60を超える企業や団体等を賛助会員として、平成17年より活動を続けてきました。その目的は、「民学産公」の協働により、教育・学習機能、研究・開発機能、窓口・ネットワーク機能を広く地域の皆さまに提供し、以って市民の皆さまの生活・知識・経験・交流に資することを目的としております。

通常の大学では選抜試験を経て入学し、社会に巣立っていくまでの高等教育機関を意味しますが、三鷹ネットワーク大学は年齢や地域や分野の壁を越えて、すべての市民の皆さまに開かれた大学です。

21世紀に入って市民社会が成熟しながら日進月歩の変化を遂げている状況の中では、社会の成員もそれに歩調を合わせて自分も進化・変化を遂げていかなければなりません。

まして、長い人生をいきいきと活動的に過ごしていくためには自ら積極的に学びを楽しみ、その中で一人一人が成長を遂げていくことが望まれます。三鷹市は、このような「21世紀市民社会」の在り方を市民の皆さまと共に考えながら、そのモデルを提示できればと願っております。「学びに遅きはなく、分野に限りなし」と言います。三鷹ネットワーク大学は、様々な分野の学びと出会いを用意して皆さまの参加をお待ちしております。

三鷹ネットワーク大学の目的

教育・研究機関の地域への開放と、地域社会における知的ニーズを融合し、民学産公の協働による新しい形の「地域の大学」をめざします。

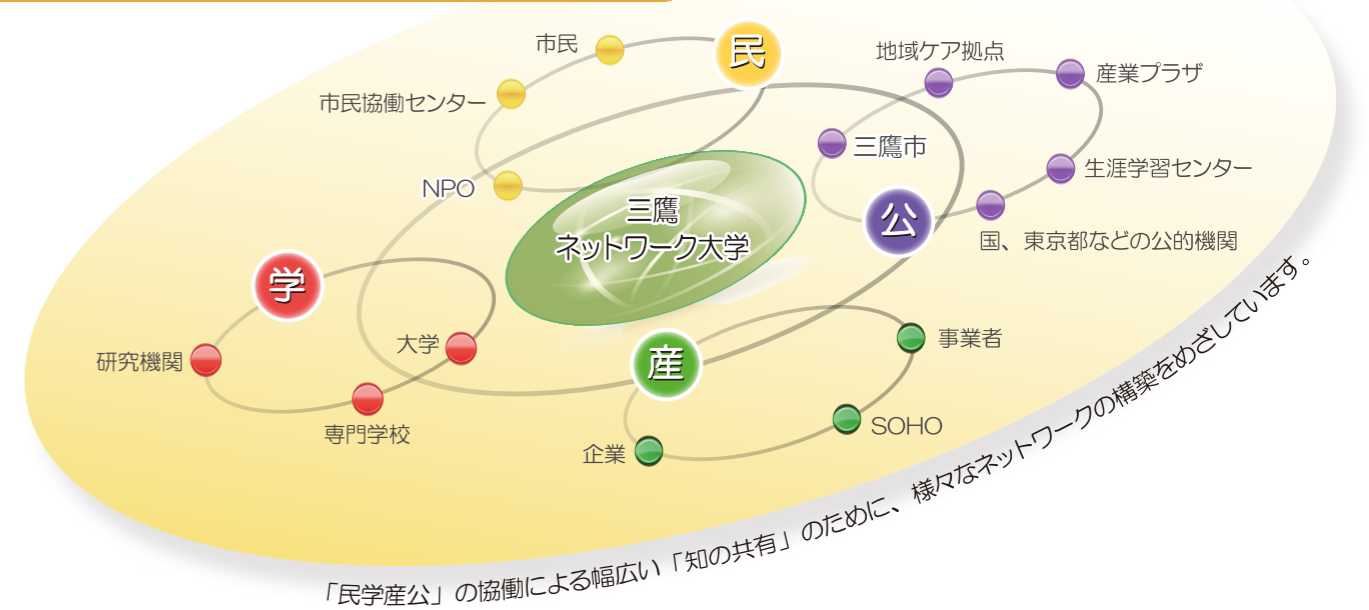
市民が地域で活躍するための知識や手法の取得を支援することで、地域の人財をさらに生み育て、協働のまちづくりを進める中で、より豊かで安心できる市民生活の実現をめざします。

教育・研究機関の知的資源を地域社会に提供することにより、市民により高度な生涯学習の機会を提供することで、市民一人ひとりの知的満足度の向上をはかり、市民活動等につなげる中で、自己実現の支援をめざします。

民学産公の連携により、教育・研究機関や企業、NPO等の知的資源を活用した新しい技術やシステムを開発して、地域に根ざした産業を支援・創出し、都市活力の再生をめざします。

市民が地域で活躍するための様々な知識や手法を提供することで、協働のまちづくりをすすめて、より豊かで安心できる市民生活の実現をめざします。

三鷹ネットワーク大学の展開イメージ



三鷹ネットワーク大学3つの機能と10の事業展開

三鷹ネットワーク大学は、**教育・学習機能**、**研究・開発機能**、**窓口・ネットワーク機能**の3つの機能を持ち、それぞれの機能ごとに10項目の事業を展開します。

1. 教育・学習機能

民学産公の協働により、三鷹ネットワーク大学の正会員・賛助会員である教育・研究機関、企業、NPO等から講師を招き、地域ケア、協働のまちづくり、ビジネス、文化・教養、特別講座の5区分で多数開催。幅広い世代の方々が受講されています。

2. 研究・開発機能

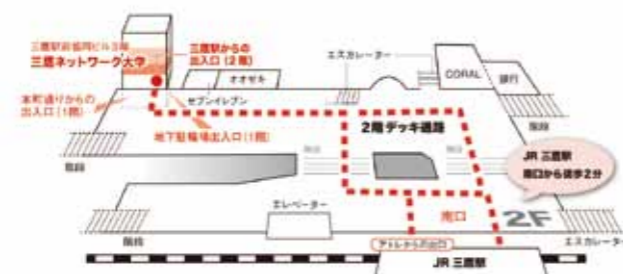
地域における産業の活性化や新事業創出に向けた実証実験など協働の手法で研究・開発への取組みを支援。起業家向けセミナーの開催、コミュニティ、ビジネス、NPO活動等についても支援しています。

3. 窓口・ネットワーク機能

多様な学び方、働き方を考える講座企画等を通じ、キャリアデザインを支援。民学産公の新たな出会いやマッチングのための研究会の開催や専門家と市民が交流できるサロンなども開催。eラーニングの活用についても検討しています。

沿革

平成15年	9月	三鷹ネットワーク大学・大学院(仮称)検討委員会(委員長 清成忠男法政大学総長＝当時)発足
平成16年	4月	検討委員会より、三鷹市に対し、「ネットワーク大学」設置に向けた提言書を提出
	6月	三鷹ネットワーク大学(仮称)開設協議会(会長＝清成忠男法政大学総長＝当時)を設置
	10月	プレ開講講座開始～地域ケア連続講座「住み続けるまち・三鷹での地域ケア」、天文学連続講座「すばる望遠鏡が見た宇宙」、SOHOベンチャーカレッジなど
平成17年	3月	第3回開設協議会で14の教育・研究機関と三鷹市が基本協定を締結
	5月	「三鷹ネットワーク大学推進機構」(理事長・清成忠男)を設立。特定非営利活動法人(NPO法人)認証を東京都へ申請
	6月	「三鷹ネットワーク大学条例」が三鷹市議会で可決
	8月	東京都よりNPO法人認証書交付、法人登記完了
	9月	公の施設「三鷹ネットワーク大学」の指定管理者にNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構を指定
	10月	三鷹ネットワーク大学開設 アストロノミー・バブ開始
平成18年	4月	ホームページを開設
	5月	「民学産公」協働研究事業開始
	8月	講座運営支援システム運用開始。インターネットでの受講者登録・講座受付が始まる
平成19年	4月	無料起業相談を開始
平成20年	11月	eラーニング事業「星空案内のための天文講座」配信実験を実施
平成21年	7月	三鷹まちづくり総合研究所「第4次基本計画と市民参加のあり方に関する研究会」設置
	8月	「三鷹の森 科学文化祭」を三鷹市と共催(平成21年～)
	9月	みたか太陽系ウォーク、まちなかサイエンス・カフェを開始
平成22年	5月	開設5周年記念三鷹ネットワーク大学シンボルマークを公募
	6月	三鷹教育・子育て研究所「三鷹市教育ビジョンの見直しに関する研究会」設置
平成23年	6月	三鷹まちづくり総合研究所「サステナブル都市三鷹研究会」設置
	10月	三鷹まちづくり総合研究所「コミュニティ創生研究会」設置
平成24年	6月	三鷹まちづくり総合研究所「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究所」設置
	7月	三鷹教育・子育て研究所「コミュニティ・スクール研究所」設置
平成25年	8月	「三鷹の森科学文化祭」の実施にあたり、国立天文台・三鷹市と協定を締結
	11月	杏林大学・地(知)の拠点整備事業と連携した公開講演会等を開始
平成26年	2月	三鷹まちづくり総合研究所「持続可能な都市経営と基本計画改定等の将来課題に関する研究会」設置
	11月	「アストロノミー・バブ」100回目を開催
平成27年	7月	三鷹ネットワーク大学の指定管理者に機構を再指定(平成27年10月～令和7年3月)
	10月	三鷹ネットワーク大学開設10周年を迎える
平成28年	7月	「協働サロン」事業として、みたか都市創造サロンを設置
	9月	三鷹まちづくり総合研究所「庁舎等建替えに向けた基本的な枠組みに関する研究会」設置
平成29年	6月	鈴木典比古(国際教養大学理事長・学長)が三鷹ネットワーク大学推進機構の新理事長に就任
平成30年	7月	三鷹まちづくり総合研究所「市政に関する将来課題の調査研究分科会」設置
令和元年	5月	『人生100年時代の地域ケアシステムー三鷹市の地域ケア実践の検証を通して』発行



NPO法人 三鷹ネットワーク大学推進機構

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階
 TEL. 0422-40-0313 FAX. 0422-40-0314
<https://www.mitaka-univ.org/>

※三鷹ネットワーク大学は、学校教育法上の「大学」ではありません。

民学産公の新しい「地域の大学」

地域の財産となり、地域活動につながる学びの場を提供します



三鷹ネットワーク大学